



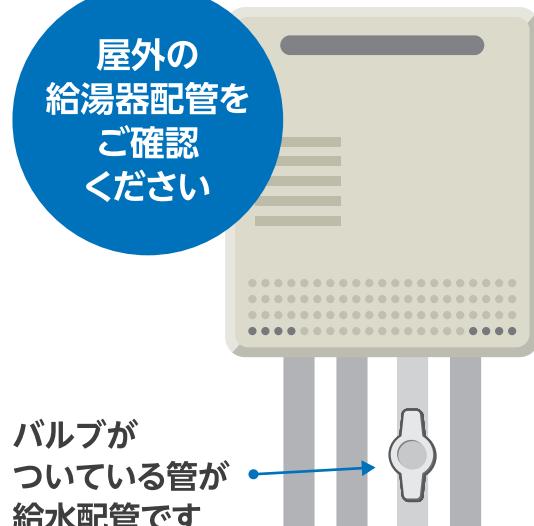
お湯が出ない!!

ガス給湯器の凍結対策

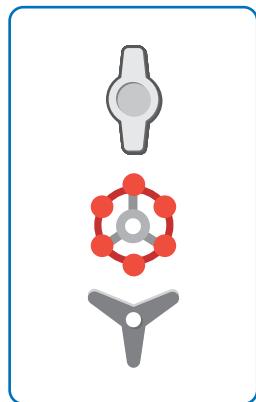


すべてのお湯の蛇口から何も出ず、給水配管の給水バルブ(元栓)が回らない場合、
給水バルブ(元栓)が凍結している恐れがあります。

屋外の
給湯器配管を
ご確認
ください

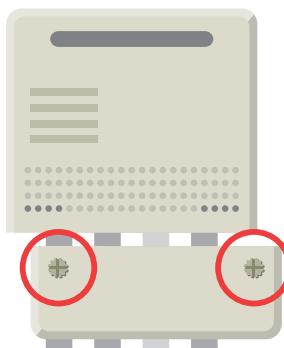


バルブが
ついている管が
給水配管です



給湯器の形状や給水バルブ(元栓)の形はさまざまです。
配管配列と合わせ、ご確認ください。

配管カバー付の
給湯器の場合



赤い部分のネジを回し、カバーを外して
から作業してください。

凍結したかな? と思ったら

気温上昇により自然解凍するまで待つことをおすすめしますが
すぐにお湯を使用したい場合、下記の方法をお試しください。

- 1 給湯器の給水バルブ(元栓)の周りにタオルを巻く。
- 2 巻いたタオルにお湯をゆっくりとかける。
熱湯は避けてください。
- 3 給水バルブ(元栓)が回るようになったか
確認してください。
- 4 お湯の蛇口を開き、給湯器が作動するか
確認してください。
- 5 お湯が出たら巻いたタオルを外し、
配管まわりの水を拭き取ってください。



熱湯は配管を痛めるほか、破裂の危険性があります。ご注意ください。

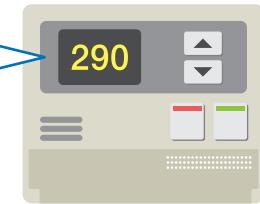
配管は濡れたままにはしないでください。再凍結の恐れがあります。

► ウラ面もご覧ください

給水バルブ(元栓)を温めてもお湯が出てこないときは

エコジョーズご使用の場合は

リモコンに
「290」「291」「292」「293」
等のエラーが出ていますか?



省エネ給湯器(エコジョーズ)をご使用の場合、
ドレン(排水)配管が凍結することもあります。

ドレン(排水)配管が凍結した場合、リモコンに「290」「291」等のエラーパン号が表示されます。同エラーが出た場合はドレン(排水)配管接続部へドライヤーの温風を当てて、ゆっくりと温めてください。

他の管よりも比較的細いのがドレン(排水)配管です。配管状況がわからない場合は、給湯器の下部をご覧ください。

エコジョーズとは?

ご使用のガス給湯器にこのマークがあつたら省エネ給湯器です。



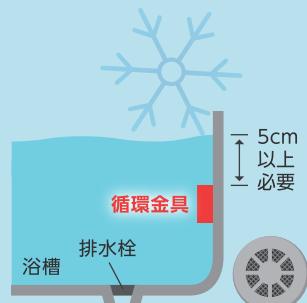
それでもお湯が出ないときは
下記までお問い合わせください

凍結を予防するには

浴槽の残り湯を捨てない方法

追い焚き付き給湯器の場合、追い焚き配管が凍結しないよう自動的に浴槽内の水(残り湯)を循環させます。冬期間は日中でも浴槽は空にせず、循環金具より5cm以上の水(残り湯)を確保してください。

※浴槽のお掃除はお風呂を沸かす(自動湯張り)直前に行ってください。



通水による予防方法

給湯器のリモコンの運転スイッチを切り、お湯の蛇口から極微量(4mm程度)の水を出しておきます。



凍結予防ヒーターによる方法

給湯器には凍結予防ヒーターが内蔵されており、凍結の恐れのある気温になると自動的に給湯器内を温めますので、電源コンセントは抜かないでください。

※給湯器配管の凍結予防ヒーターの取付や配管カバーの設置をおすすめします。
(別途工事が必要となります)

給湯器の凍結に関するお問い合わせは

越後ガスサービス株式会社

☎ 0250-22-9651

受付時間=月~土8:45~17:00 定休日=日曜日・祝日

